

中部教育事務所だより

発行所 群馬県教育委員会事務局
中部教育事務所
発行人 古市 功
発行日 令和5年3月16日
〒371-0051 前橋市上細井町2142-1
TEL (027) 232-6511



「私たちの学校・園 これだけは」

中部教育事務所 管理主監 酒井 暁彦

未だ新型コロナウイルス感染が心配される中ですが、学校・園に訪問すると、子供たちが笑顔で元気いっぱい過ごす姿や真剣に学習に取り組む姿などを多く見ることができ、たいへん嬉しい気持ちになります。先生方も「チーム〇〇」を合言葉に、若手とベテランの教員がそれぞれ

の強みや持ち味を生かし連携・協力して心強いと感じています。また、授業や活動に集中できず落ち着かない子、一斉授業についていけない子、気持ちが向かず登校園できない子などに対して、どの学校・園においても一人一人の困り感に寄り添った丁寧な対応をいただいています。教科指導においても生徒指導においても様々な職種の方々による陰のサポートも「チーム〇〇」をつくる上で忘れてはならないでしょう。まだまだコロナ禍で活動に制約がある中ですが、先生方が知恵を出し合って様々な工夫をして、子供たちの学びを止めないよう努力されている姿にはただただ頭が下がる思いです。

最近よく、「現代人が一日に受け取る情報量は、江戸時代の一年分、平安時代の一生分」などと言われています。学校・園にも多くのことが期待され、新しい考え方や手法が入ってきているように見えます。もちろん、変化の激しい社会に生きていく子供たちのために、私たちも様々な情報を手に入れ、学校・園の実態に合った教育をしていかなければならないでしょう。しかし、常に求めすぎるあまり、情報過多になっていないか冷静に考える時なのかもしれません。あまりにも情報が多すぎて頭が整理できず、一つ一つの情報をしっかり考えることができなくなっていると感じるからです。

今は子供たちのまわりにも情報があふれており、その情報収集力も高まっています。ただ本当に必要なのは、その情報を自分なりの発想や自分なりの考え方で処理して発信する力です。その子供たちに求められている情報活用能力は、実は私たちにも求められているのではないのでしょうか。

一年が終わるこの時期、各学校・園では、今年度の取組を評価し、来年度へ向けた重点を決めているところだと思います。多くの情報に流されるのではなく、自校（園）の実態に合った本当に必要な取組や今まで大切にしてきた不易なものに腰を据えてじっくりと取り組むことも必要だと思います。『私たちの学校・園 これだけは』とシンプルに考えて、それぞれが掲げる重点目標をチーム一丸となって達成できるようになることを期待します。



中部教育事務所もみなさんのチームの一員になれるよう、学校・園のサポートを全力で行っていきたいと考えています。子供たちの笑顔あふれる学校・園になるよう、ともに頑張っていきましょう。

【学校教育係 人事】

教員業務支援員【障害者雇用】の配置に期待すること

現在中部管内には、障害者雇用として教育業務支援員が19名配置され、各学校で元気に働いています。令和3年5月に障害者差別解消法の一部改正があり、障害のある方々に対する「合理的配慮の提供」が義務化されました。これを受け、配置された19校では、校長先生はじめ学校教職員が教育業務支援員と話し合う中で、一人一人の得意分野を生かしたり、思いや考えを共有したりするといった、双方の「合意」を大切にしています。雇用のベースに「“合意”的配慮」が据えられ、合理的配慮の提供がなされているのです。心より感謝申し上げます。これからの子供たちには、多様性を認めながら共生社会を築いていく力が必要であり、この取組は子供たちの学びにとって、とても有益だと感じています。また、一緒に働いている先生方が、多様性を認める社会の創り方を、実体験を基にした本物の言葉で語りかけてくれると期待しています。

合理的配慮



【総務係】

学校教職員の皆様へ

- ① 各種手当の認定要件等に変更があった場合は、必ず事務職員に申し出てください。
【例】転居、家賃の変更、扶養親族の増加（父母の収入減、子の出生等による）、扶養親族の所得増（108,333円超/月）
- ② 通勤途上や勤務時間中に、医療機関を受診しなければならない怪我をした場合は、直ちに校長、副校長、教頭等に報告してください。「公務災害」の対象となる場合があります。

【生涯学習係】 〈地域と学校の連携・協働の推進について〉

今年度、生涯学習係は、地域人材の育成及び地域の教育力向上を支援し、地域と学校の連携・協働を推進するために、以下の研修会を実施しました。

参加者の声

学校側としては、地域の人と何かをするとき「やってもらう」という考えから「みんなでやろう」という発想が大切だと思った。

コーディネーターの実際の活動内容や、学校、地域の方々との関わり方など、具体的に知ることができ勉強になった。

公民館が主体となって地域学校協働活動を進めている事例を聞くことができ参考になった。

放課後の活動がどれだけ子供たちの可能性を伸ばせるのかを知ることができた。

- 協働活動支援員等研修会
- 地域学校協働活動推進員等研修会
- 地域と学校の連携・協働推進フォーラム

地域学校協働活動の必要性やねらい・進め方がよく分かった。

来年度から「中部地区地域学校協働活動推進員等研修会」は「中部地区地域と学校の連携・協働推進研修会」と名称を変更します。また、来年度は学校関係者編と地域関係者編として、2回の実施を予定しています。皆さんの参加をお待ちしております。

【学校教育係 指導】 〈R4年度 授業改善推進応援事業 取組と成果〉

「授業改善推進応援事業」は、学校または地区からの授業改善に関わる要望に応じ、中部教育事務所が管内各市町村の実践的な取組を協働的に支援することを目的としています。令和4年度は、榛東村・吉岡町・玉村町を中心に、以下のような内容で応援をさせていただきました。

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善への支援
- ・ 校内研修、教科部会等における支援
- ・ 1人1台端末を活用した授業づくりへの支援
- ・ 節目研修の実践支援や単元構成を核とした指導案作成支援

成果

- ◎指導案の中で、子供の姿をイメージし、ねらいを達成するための手立てが明確になってきました。
- ◎ICT 端末を活用して、教師が子供の考えを集約したり、子供同士の意見交流の場を設定したりすることができました。



授業研究会では、ICT 端末の活用方法は適切であったか、よりよい意見交流にするにはどうすればよいかなど、熱心な協議が行われました。



指導案作成の段階から、授業者と指導主事で単元構想や発問の工夫等について協議しながら授業づくりを行いました。



小学校外国語活動の様子です。JTEとALTのモデル対話を示しながら、単元の目標となる姿を子供たちに伝え、見通しをもたせていました。

授業力のさらなる向上のために

- 構想をもって…子供に身に付けさせたい力を明確にして、単元や授業をつくりましょう。
- 目的をもって…何のために活動するのか？何のためにICTを使うのか？意図を明確にしましょう。
- 発問の工夫…本時のねらいに直結した、子供の思考に働きかけるような発問を考えましょう。
- 豊かな交流の場…言葉による対話の中で、アウトプットやインプットを繰り返すような場面を設定しましょう。
- 教師のコーディネート…子供たちの多面的・多角的な考えを引き出しつないだりして、考えを深めさせましょう。

本事業は令和4年度にて終了しますが、来年度以降は名称を「要請訪問」と変更し、今後も学校または地区の要望に応じた支援をさせていただきます。子供主役の授業づくりのために、授業力のさらなる向上を願い、先生方のお力添えができればと思っております。よろしくお祈りいたします。